

「しりあい」がふえたら、かなりたのしいかも

本町の人口 39,510 人に対し、外国籍町民はおよそ 3,300 人。その人口比率は 8.44% で県内で最も高く、ペルー、ベトナム、ブラジルなどを中心に 43 の国や地域の外国籍の皆さんが生活しています。人口比率が高いだけでなく、この多彩さも本町の特色の一つです。さまざまな国の人や文化が身近な町、愛川。まずは「知る」ことから始めてみませんか？ (令和5年10月1日現在)

問 企画政策課 企画政策班 ☎(内線)3234

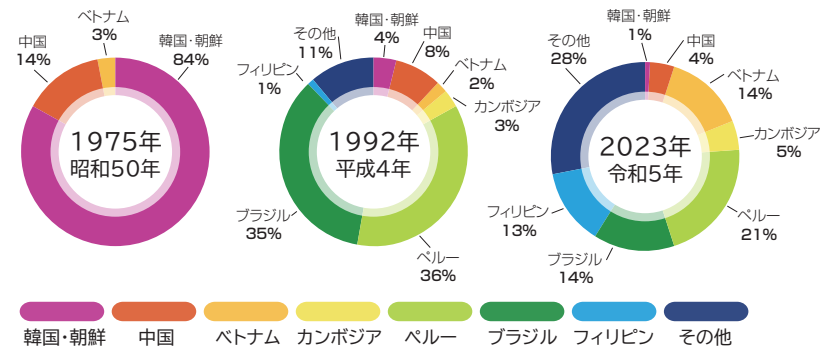
なぜ、愛川町に外国籍の方が多いの？

内陸工業団地で働く外国籍町民が多い

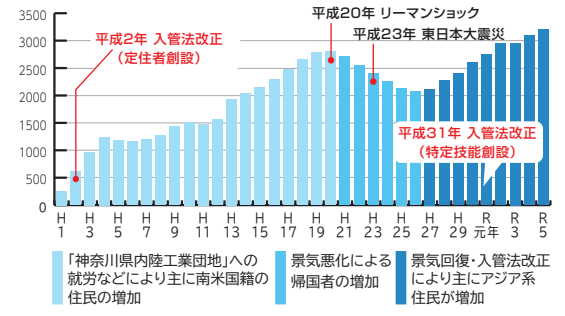
広大な中津台地は戦後、内陸工業団地として多くの企業が進出。入国管理法の改正などもあり、多くの外国籍の方々が就労をきっかけに、本町にやってくるようになりました。

国籍別割合の変化にも注目

1980年代前半の本町は韓国や朝鮮、中国籍の方が全体の7割以上を占めていましたが、インドシナ難民の受け入れをきっかけにカンボジアやベトナムなどの東南アジア諸国からの人々が増えていきました。1990年になると、入管法改正などにより特に南米系日系人労働者の受け入れが進み、ブラジルやペルーなどの割合が増え、近年はベトナムやフィリピンなどの人々が増えつつあります。



愛川町の外国籍住民数の推移



PIC UP

ドミニカ共和国籍の方が国内で最も多い愛川町

本町には、ドミニカ共和国籍の方が国内市区町村のうち最も多く在住しており、これまでも副大統領や外務副大臣、駐日大使といった方々の訪町や、野球教室、町から同国への高規格救急車の寄贈など、さまざまな交流を行っています。

町のさまざまな取り組み

外国籍町民の多い愛川町では多文化共生のためのさまざまな取り組みを行っています。



自動翻訳機も
あります！

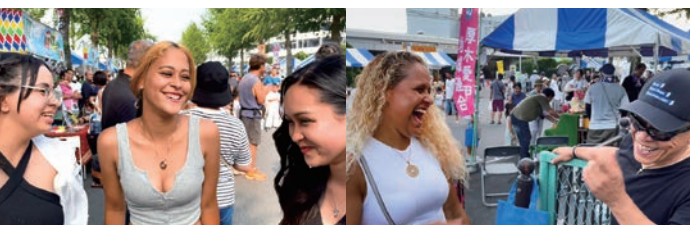
役場窓口で専門相談員
町役場の住民課には使用言語で特に多い、ポルトガル語とスペイン語の通訳が手続きをサポートしています。



ごみ収集カレンダーの多言語化
ポルトガル語やスペイン語など9種類の言語で収集日や分別のルールを明記し、配布しています。



勤労祭野外フェスティバル
ブラジルやペルーなどの国際屋台村、サンバカーニバルなども行われるなど国際色豊かな催しです。



勤労祭で外国籍の方々などに聞きました！
愛川町って住みやすいですか？
インタビュー内容はYouTubeで配信中





音楽の授業
みんなで鍵盤ハーモニカを演奏

日本語指導教室で
カードを使って学習する児童

お友達の外国語をいつの間にか
話せる児童も

宗教の関係などで
給食を食べられない児童は
お弁当で対応

算数の授業で日本語指導協力者から
指を使った計算を教わる児童

放課後学習「かえて教室」

真剣なまなざしで書道に取り組む児童

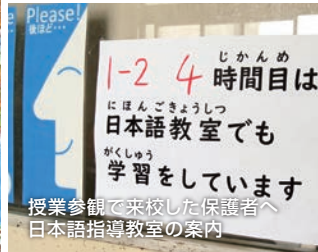
体育の授業
みんなで跳び箱に挑戦



廊下の地図の脇には、
世界のあいさつ



児童とつながりのある国は
実に多彩



授業参観で来校した保護者へ
日本語指導教室の案内



子ども同士で通訳をしながらのコミュニケーションをとることも。学校の楽しい日常風景

内陸工業団地のある中津地区の小学校では国籍にかかわらず、父母の両方またはそのどちらかが外国の出身者である、外国につながるのある子どもが増えています。そうした子どもたちと、どう学校は向き合っているのか。

町内の小学校の中で、外国につながるのある児童が多い中津小学校を取材しました。

学校の様子は
コチラから



「子どもたちは、アタリマエに共生」



中津小学校 栗根幸子教頭

JICA 青年海外協力隊員として、2年間ドミニカ共和国に派遣。現地の学校教育に携わる。

**全校児童の26%以上が
外国につながるを持つ**

本校の全校児童数は440人で、うち116人が外国につながるのある子どもたちです。

国でいうと18カ国。中でも1年生はクラスの約3割がこうした児童で、11カ国の児童が共に学んでいます。

**「日本語指導教室」で
一から言葉を覚える**

来日間もない児童や、日本語がまだ十分わからない児童については、日本語指導教室で学校生活に必要な言葉やルールをある程度身につけていきますが、授業の中で学習内容を理解していけるようなレベル

まで日本語を習得するのはとても大変です。

**求められる
インクルーシブな教育**

このようなさまざまな背景を持つ子どもたちが学校生活を共に楽しく過ごせるよう、本校の教職員は配慮することがたくさんあります。

近年では、イスラム教を信仰する児童なども増えているので生活様式や食べ物のことなど、今まで以上に気にかけるようにしています。

同時に教職員自身が学ばなければならないことがたくさんあると思います。

**インターナショナルな
学校生活**

大人になって社会に出ると、さまざまな国の人、考えの人がいて当たり前になります。その中でいろいろな人と協力しながら共に生きていかなければなりません。中津小学校の子どもたちは日々の生活の中で多文化を当たり前のように入っています。





Hamasaki Renata

浜崎レナタさん

From Brazil



ブラジルを代表する料理です。黒大豆のほか、ベーコンやソーセージなどのたくさんのお肉が入っているのので、ご飯に合う味付けです。パーティーなど特別なときにみんなで食べます。

愛川町中津在住。町の在住歴は10年。
普段はプロダンサーとして活躍している。

私はプロダンサーとして、愛川町の勤労祭で毎年サンバダンスを踊っています。普段は日本人にサンバダンスを教えています。愛川町はお店も多く暮らしやすいです。日本の納豆ご飯は最高です！

町内でサンバの教室を開いています。
初心者大歓迎です！



レナタさんが作った
「フェイジョアード」

じゃがいもを使ったこの料理は、ペルーの家庭では日常的に食べられています。ペルーには3,500種類のじゃがいもがあります。ソースは黄色い唐辛子、牛乳とチーズ、クラッカーで作ります。



フロルさんが作った
「パバアラワンカイーナ」

Catherine Lofranco Abay

ロフランコ アバイ キャサリンさん

From Philippines



愛川町中津在住。日本に来て17年、町の在住歴は9年。
ブラジル人とペルー人の友達がたくさんいる。
フィリピンの代表料理です。春巻きの皮と豚肉の挽肉、玉ねぎなどの野菜を混ぜて皮に包んで油で揚げます。子どもも大好きです。



キャサリンさんが作った
「ルンピア」

私は、日本のお米は世界一だと思います！お米がおいしいから、ふりかけで食べるのが大好きです。日本語は難しいけど、日本が好きだから、がんばって覚えるようにしています。日本語の敬語は憧れ！とってもカッコイイです！

Butti Hung Anh

ブーティ ホン アンさん

From Vietnam



このケーキはベトナムで若者に人気があります。塩漬け卵黄と豚肉がのった甘じょっぱいケーキです。

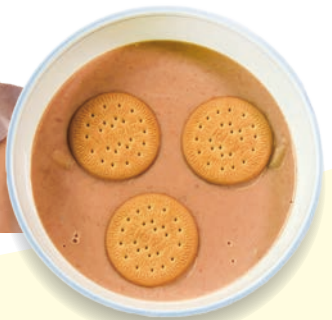
愛川町中津在住。日本に来て6年、町の在住歴は1年。

皆さんはベトナム料理といえば、多分「フォー」というイメージが強いと思いますが、ベトナムにはおいしいお菓子がたくさんあります。そのことを今日皆さんに知っていただけたのがうれしいです。日本のお料理も大好きです。



アンさんが作った
「バン ボン ラン チュン ムオーイ」

ドミニカ版のおしるこ。みんな大好きなデザートです。赤い豆から作られており、キリストの復活祭の日であるイースターの日に食べます。



ミサエさんが作った
「アビチュエラ コン ドウルセ」

問 総務課 広報・シティセールス班
☎(内線)3222





Yasaki Flor

矢崎フロルさん

From Peru



愛川町中津在住。
町の在住歴は16年。



愛川町には、ペルー人も多し、日本語が話せなくても生活はできますが、やっぱり日本語を学ぶと暮らしやすくなります。日本人にはとても優しくしてもらっているので、感謝しています。

町内で子どもたちに柔道を教えています。

Iwane Mitie

岩根美智枝さん

From Brazil



ブラジルで来客があったときに出す料理です。「コシーニャ」はポルトガル語でモモの意味で、「エンパダ デ パウミット」には調理したヤシの芽が入っています。

町の在住歴は22年。町役場住民課の外国人専任相談員を務め、外国籍住民を日々サポートしている。

外国籍の皆さんは、本当に自分の国を誇りに思っています。それと同時にみんな日本のことも大好きなんです。そういうことを「知る」ためにも、こういう交流会をもっともっとやっていきたいですね。



岩根さんが作った

「コシーニャ」「エンパダ デ パウミット」
「チーズボール」「エスフィーハ」

町役場住民課で火曜日を除く平日の午後で相談を受け付けています。ぜひ、お気軽にご相談ください。

おいしい座談会

モツタイナイヨ、クワズギライ!

話して、知ってみると意外と仲良くなれた経験ってありませんか？
本町にはさまざまな文化の方がたくさんいます。知らなきゃもったいないかも！
今回は、町内に住むさまざまな国籍の皆さんに各国のお料理を持ち寄っていただき、「食」を通して多文化を“知る”「おいしい座談会」を開催しました。

座談会の様子はコチラから →



Hara Kazuhiro

原 和洋さん

From Japan



油揚げは神様の使いであるキツネの好物といわれ、油揚げを使用した寿司を「いなり寿司」と呼ぶようになりました。このお米は、私の家で作った愛川町産のお米です。

愛川町中津在住。日本に住んで生まれて49年。
菅原小学校PTA国際交流委員長を務める。

愛川町は外国籍の方がたくさんいるから、旅行に行かなくても異文化交流ができて、きょうところはすごいと感じています。今日は、普段聞けないお話をたくさん聞けたので、学校でもこんな風に外国籍の皆さんと交流できる機会を作ればと思います。



原さんのお母さんが作った

「いなり寿司」

Oba Misae

大場美冴さん

From Dominican



愛川町中津在住。日本に来て16年、町の在住歴は10年。



普段はドミニカのお料理も食べますが、日本の料理もよく食べます。あとはコンビニがすごい便利なので、よく利用しています。

